

私の想い

【地域と子ども達とのつながり】



中沖水泳スポーツ少年団
代表指導者
中島 政孝 氏

母の故郷である中沖に平成8年に住居を構えて24年になります。中沖水泳スポーツ少年団の代表指導者として、今年で18年目となりますが、水泳は基礎体力や体幹等を培うのに適しているスポーツで、主に個人種目なので個々で目標を決め、そこに向けての努力・忍耐・精神力が養われていき、達成感を感じてもらえる様に個々に合わせた指導をしています。

これまでに、沢山の子ども達と出会い、その親御さんとの交流を得て、地域の方々との親睦が広がっていききました。地域の活性化には、学校・保護者・地域の方々が協力しあい、未来ある子ども達が健やかに育つための環境作りが大切なこと

だと思っています。

中沖では、子ども主催で分館協力のもと行う夏祭り、4年生から中学1年生で踊る棒踊りの継承、畑を借りてのそば栽培・収穫してのそば給食、PTAと一緒にケーキを作るクリスマス会等があります。

子ども達だけで出来ない事も地域の方々の協力があれば、たくさん思い出を作ることが出来ると思います。

最近では、若い世代の保護者の方々も増え、小学校児童数も60人程を維持できています。

これからも、分館役員の一人として子ども達の成長を見守りながら各世代とのつながり、地域のパイプ役として地域活性化に頑張っていきたいと思っています。私は子ども達を育てるのに素晴らしい環境の中沖の地が大好きです。



中沖水泳スポーツ少年団

【次世代へつなぐ】



大崎水泳指導者
松元 昭二 氏

大崎水泳スポーツ少年団は、現在団員数29名で町内では一番団員数も多く、昭和46年に日本スポーツ少年団に登録している歴史と伝統のあるスポーツ少年団です。

長年の活動の中では、団員数が100名を超える時期もあり、多くの子ども達が「大崎水泳で学び、成長し、巣立っていききました。私自身もその中の一人です。指導者になるきっかけは、社会人になり大崎町へ帰ってきた時、恩師である故大和隆信コーチから「今も子ども達が練習しているから遊びに来いよ！」と声を掛けられ同級生3人で練習を見に行つたのが始まりで、今年で30年になるうとしています。

大崎水泳スポーツ少年団の伝統スローガンは「継続は力なり」です。

水泳は個人種目で自分との戦いです。苦しい時でも自分に負けることなく継続することで得

られることがたくさんあると子ども達に伝えていきます。そして団体活動で共に成長した仲間を大切にしていきたいと願っています。

私自身も長く指導を続けることで、幅広い世代の保護者の方々とつながり、子ども達と一緒に成長することができました。継続することで得られたかけがえない財産と考えています。

コロナ対策で大会や行事が思うようにできない状況が続いていますが、これからも地域の方々と一緒に子ども達の成長を見守り続け、いつか次の世代の指導者につないでいくことを楽しみに日々活動しています。



大崎町水泳記録会終了後の集合写真

編集後記

新型コロナウイルス感染症が広がる中で新しい年を迎える事となりましたが、皆様お変わりございませんか。

今年も住民の皆様からのご意見、ご要望を行政に届け、また議会たよりが皆様方にお役に立ち、読みやすい広報紙となるよう努力してまいります。ここに議会だより158号をお届けします。

今後ともご愛読のほどよろしくお願いいたします。

寒さ厳しい折、風邪など召されませぬようご自愛ください。

(稲留光晴)

議会広報広聴常任委員会

- 委員長 児玉 孝徳
- 副委員長 稲留 光晴
- 委員 小野 光夫
- 委員 吉原 信雄
- 委員 中倉 広文
- 委員 諸木 悦朗

発行責任者

大崎町議会議長 宮本 昭一